

3月16日(木) 18:30~

会場：Zoom 及び国労会館大会議室



第176回定例研究会

誰でも参加できます。  
Zoomで参加の方は  
前日までに連絡ください。

## NTTのジョブ型人事制度と リモートスタンダードの問題点

報告：榊原 雅樹 氏  
(静岡県労働組合評議会 事務局次長)

### これからの企画

#### ◆春のシンポジウム

日時…4月29日(土) 13:30~

場所…静岡労政会館視聴覚室&Zoom

内容…「大学の無期転換逃れを許さない」伊藤圭一氏  
「非常勤講師の雇止めに対する闘い」佐々木信吾氏  
「非常勤講師の労働実態」天池洋介氏

#### ◆第177回定例研究会

日時…5月18日(木) 18:30~

場所…国労会館会議室&Zoom

内容…「国連障害者権利委員会 総括所見の意義と当事者をめぐる実態」磯野博氏

### 経営戦略に基づくコスト削減施策

日本の賃金は、1990年代後半から停滞を続けています。苦しい生活を守るために、なんとしても賃上げが必要との思いは労働者の実感です。同じ職場で同じ仕事をこなしているのですから「すべての労働者」の賃上げが必要との思いも共通です。しかし、この思いに逆行しているのがジョブ型人事制度です。ジョブ型人事制度で雇用の分断と流動化が加速し、更に格差が拡大されます。長年のたたかいで積み上げてきた各種手当も廃止されました。NTTが進めるジョブ型人事制度は、政府・財界が「リスクリシシング」として推進する「産業・雇用の再編」施策とぴったり合致します。そこには、労働者の雇用や生活を守る視線はなく新自由主義の調整策でしかありません。

また、NTTが進める「リモートスタンダード」も経営戦略に基づくコスト削減施策です。1日200円のリモートワーク手当で自宅をオフィスとする事で、NTTビルから労働者を「追い出し」、不動産の再開発で利益追求を狙っています。労働者が労働者たる資質を醸成してきた対面による協働の環境を根底から否定するのが「リモートスタンダード」の本質です。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号(静岡県評内)  
静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール [roudouadv@cy.tnc.ne.jp](mailto:roudouadv@cy.tnc.ne.jp) ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>